

大阪城

2022  
7/28  
(木)  
14280  
号

全港湾  
西成分会

244  
6647-  
4947

西郷どんのころの桜島が先日爆発したという。  
火山列島・地震列島の島国なので、そんな  
自然がずつとつきまとっている。富士山の爆発  
がときどき予想されたりするが、地球の歴史や  
地下のマグマやプレートの長年にわたる動きや  
流動からすると、全くない話でもなくなっている。  
地球の爆発のような形で、ロシアの侵行、ウクライナ  
戦争が起り、今までのアメリカがきついていた政治・経済  
しくみ、枠組みは大きく変化した。流動代が起って  
いる。アメリカの足下の中南米では労働者民衆の  
左派政権が多く生れ、ほとんどこがアメリカの言うこと  
は、今までのようにきかなくなっている。キューバはじめ  
中南米諸国の貿易金難は、アメリカより中国との  
貿易がなだたくなっている。アメリカに従うれば、  
だいたいふうふなどというニュースをたれ流しているのは、  
極東の島国・日本だけになっっているのではなからうか  
コロナウイルスで100万人以上の死者を出し続けている  
アメリカは、リカ中東激争をむかえる。1861年、1865年の  
南北戦争以来の対立と混乱を内部に生みだしている。  
階級対立や選挙制度、アメリカ民主主義が、デジタル  
時代の中で爆発をおこしている。それは、島国の日本にも  
ウイルスのように、入国禁止は始めている。

# 最低賃金引き上げ今日山場

今年度の最低賃金の引き上げの議論は、大詰めを迎えています。25日に開かれた厚生労働省の審議会では、労使の間で意見の隔たりが埋まらず、いったん議論を中断し27日以降、改めて審議会を開いてとりまとめを目指す予定で、物価上昇の影響が広がる中、近年の大幅な引き上げの流れが続くのが、引き続き、焦点となります。

現在、全国平均で時給930円となっている最低賃金の今年度の引き上げについて、労使の代表などによる厚生労働省の審議会が開かれ、とりまとめに向けた議論が行われました。議論は、8時間余りにわたって行われましたが、労使の間の意見の隔たりは埋まらず、25日いったん中断しました。

引き上げの必要性について争いはありませんが、労働者側が物価上昇を踏まえた水準を主張する一方、企業側は原材料費の高騰などで大幅な引き上げは難しいという姿勢で、引き上げ額の合意には至らなかったということです。さらに、引き上げ額の決定にあたっては、明確な根拠を示すよう求める声も双方から相次いだということです。

このため、改めて審議会を開き、とりまとめを目指すことになりましたが、双方が納得できる結論を得るには時間がかかるとして、26日の開催は見送り、27日以降としています。

最低賃金の引き上げ額は、昨年度の全国平均28円など最近、過去最大を更新する年が多く、政府も時給1000円の早期達成を掲げていて、物価上昇の影響が広がる中、大幅な引き上げの流れが今回も続くのが、引き続き、焦点となります。

NHKニュース7/26

## 大阪最賃時給992円

## プラス30円前後の攻防か